# 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

# 研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録のほか、核医学薬品を投与した後に撮影された SPECT/CT 撮影画像の情報を使用して、病気の部位や正常臓器に照射された線量を評価し、治療効果や副作用との関連性について調査を行います。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 去勢抵抗性前立腺癌に対するルテチウムビピボチドテトラキセタン治療後の線量測定に関する後ろ向き研究 |
| 研究機関名 | 愛媛大学医学部附属病院 |
| 試料・情報の提供を行う研究機関の長 | 愛媛大学医学部附属病院　病院長<br>（試料・情報の提供元の管理責任者） |
| 研究責任者<br>（個人情報管理者） | 放射線科　助教　高田紀子 |
| 研究期間 | 研究機関の長の許可日　～　2030 年 3 月 31 日 |
| 対象となる方 | 2026 年 2 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日に 1 回でも愛媛大学医学部附属病院でルテチウムビピボチドテトラキセタン（商品名プルヴィクト）治療を受けられた患者さん |
| 利用する試料・情報等 | （利用するカルテ情報）性別、年齢、現病歴、既往歴、身長、体重、日常生活自立度、血液検査データ、画像検査データ、前立腺癌診断時の病理組織データ、前立腺癌の治療歴など |
| 研究の概要<br>（目的・方法） | 去勢抵抗性前立腺癌の患者さんに対する核医学治療であるルテチウムビピボチドテトラキセタン（商品名プルヴィクト）は、治療後に撮影される SPECT/CT 画像を使用することで、腫瘍や正常臓器にどれだけ放射線が集まったか（吸収線量）を計算・評価をすることが可能です。<br>この計算した吸収線量と、腫瘍マーカーの変化や画像上の腫瘍の変化、血液検査上の変化と関連があるかどうかを統計学的に調べることにより、 |

| | |
|---|---|
| | 吸収線量が腫瘍に対する治療効果や、腎臓や肝臓等の正常臓器の副作用と関連しているかどうかを明らかにすることがこの研究の目的です。この研究により治療効果や副作用の程度に併せて個人の最適な治療線量を求めることができるようになる可能性があり、安全かつ効率的な核医学薬品の投与線量の決定に役立つことが期待されます。 |
| 個人情報の保護について | この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。<br>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。 |
| お問い合わせ先 | 愛媛大学医学部附属病院放射線科　高田紀子<br>791-0295　愛媛県東温市志津川 454<br>Tel: 089－960－5371 (内線 9550) |